

竹がえし



長さ20〜25cmほどに切ってつくった竹べらを数本使います。伝承あそびでは、歌を歌いながら、そのリズムにあわせて、手で持った竹べらを打ち替えたり、空中に放り投げてキヤッチしたりするあそびです。地方によって、さまざまなあそび方があります。枝の種類や呼び方もそれぞれ異なります。「ジャラジャラ」と竹が重なり合ってひびく乾いた音や、ツルリとした竹の触り心地もいいですね。最初は一本で練習していき、慣れたら、小さな子どもなら、4〜6本の竹べらを持ってあそぶのがちょうど良いようです。

道具

竹べらのつくり方

1

マダケかモウソウ竹の直径5cm以上の竹(直径は大きいほうが良い)の節のない部分を25cm程度切る。



2

両刃のナタか厚みのあるナイフなどで半分に割る。また半分に割る。これを繰り返し、幅1.5cm程度にそろえる。



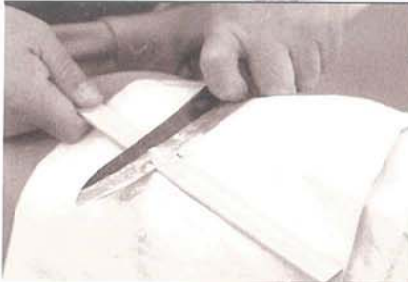
3

図のようにナイフで厚みをそろえる。この場合片側から一気に割ってしまうと厚みが揃わないので、半分程度割れ目を入れたら、逆側からも残り半分を割るようにする。



4

ナイフ、紙ヤスリなどで割った面を滑らかにし、角も少し落とし危険のないように仕上げる。



5

同じ厚み、幅、長さのものを12本から16本そろえて完成。



竹がえしで あそぼう

4〜6本の竹べらを使い、
★がついているところに、
技の名前を入れて歌を歌い
ながら技を出します。

【竹がえしの歌】

♪ひとたて ふたたて
みーたて よたて
いつやの むすこさん
なにゆうて やかまし
こころで とんで
おおさかけんぶつ
みつつのよ♪

【技①】 たて

1 「♪ひと」で、竹べらの下
をトンと1回床について、
握りをそろえます。



【技②】 わけ

1 「♪ひと」で、竹べらを両
手に持ち、手を交差させ
て立てます。



2 「♪たて」で、握っていた
手を離します。



2 「♪わけ」で、竹べらを持
った手を離します。



3 竹べらが倒れる前に、逆手
(親指が下)にしてつかみ
ます。



3 交差させていた手を戻し
ながら、竹べらが倒れる
前に、逆手(親指が下)
でつかみます。



4 竹べらを握ったまま、手
を元の向き(親指が上)に
戻します。これをくり返
します。



4 竹べらを握ったまま、手
を元の向き(親指が上)
に戻します。これをくり
返します。



【技③】きり

1 「トひと」で、竹べらを手のひらに乗せます。



2 「トきり」で、竹べらをそのまま上に投げます。



3 手の甲を上向きに、落ちてくる竹べらをつかみます。これをくり返します。



【技④】かえし

1 「トひと」で、竹べらの下でトンと一回床をつきます。



2 「トかえし」で、竹べらの先（上）でトンと一回床をつきます。



3 そのまま、竹べらを前方に起こしていきます。



4 竹べらを前方に倒し、それをつかみにいきます。



5 竹べらをつかみ、床に立ててトンと一回床をつきます。



【技⑤】なげ

1 「トひと」で、竹べらの下でト
ンと1回床をつきます。



2 竹べらの先(上)でトんと1回
床をつきます。



3 「トなげ」で、からだの前で竹べ
らを投げ、半回転させてキャッ
チします。これをくり返します。



【技⑥】まええ

1 竹べらを立てて持ちます。



3 「トひと」で、竹べらが自分の方
に向かって倒れてくるように手
を離します。



3 「トまええ」で、竹べらが倒れる前
に、手のひらで受けてつかいま
す。これをくり返します。



【技⑦】

ねんじり (ねじり)

1 竹べらを手のひらに乗せます。



2 「トひと」で、竹べらを落とさな
いように手をひねり、手の甲に乗
せます。



3

「トねんじり(ねじり)」で、さら
に手をひねりながら、竹べらを起
こしてつかみます。



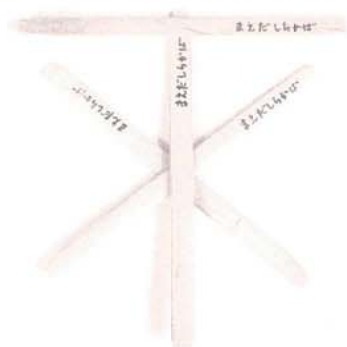
4

手を親指が上の位置に戻し、竹べ
らの下でトんと1回床をつきます。
これをくり返します。



「歌を歌わない技①」
とんぼ

1 竹べらを写真のように床に組みま
す。



2 ●を指でトンとたたきます。

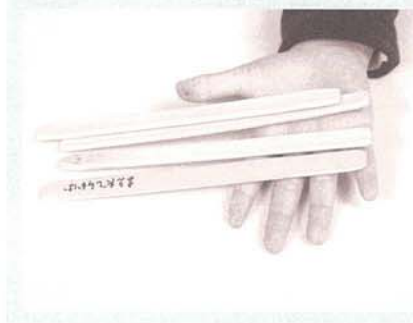


3 上にはね上がった竹べらをキャッ
チします。

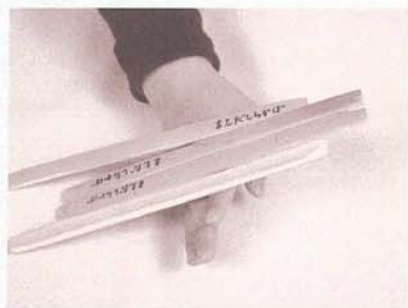


「歌を歌わない技②」
おこし

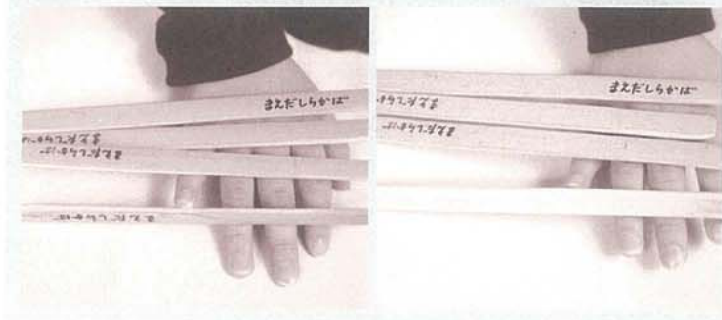
1 竹べらを手のひらに乗せます。



2 手のひらをひねり、竹べらを手の甲
に乗せかえます



3 指先の動きや震動で、1本だけウラの竹べらをオモテに変えます。



4 すべてオモテを向いたら、そのまま
手を抜いて、竹べらを床に置きます。

